

——地域社会におけるNPO、社会的企業——

秋 葉 武

環境NGO、まちづくりNPO職員等を経て2001年度から本学に赴任しました。現在の主な研究テーマは「地域社会におけるNPO、社会的企業、社会起業家の雇用創出、組織マネジメント」でこうした視点から、日本各地や韓国のNPOと実践的な共同研究を行っています。また、企業のCSR戦略や地方自治体のNPO政策のお手伝いをしています。南の島に折りたたみ自転車を持ち込んでフィールドワークするのが、とても好きです。

1. 専門演習の目標

地域社会の崩壊がいわれるなかで、NPO、社会的企業、社会起業家が雇用創出、地域の発展にどのような役割を果たせるかを受講生が主体的に考察することを目的としています。個人あるいはグループがテーマに沿って卒業論文を書き上げるのが最終的な目標です。

2. 専門演習で扱う課題と内容

組織調査を行う際のフィールドワークの方法論（インタビューや資料収集の方法）を学ぶと共に、NPOという組織のユニークさと組織の動態的な考察（ライフサイクル）をみていく。ゼミOBの卒業論文のテーマは「企業の社会貢献活動——NPOとの協働——」「地方自治体とNPOの協働」「コミュニティカフェの社会的役割」等でした。

3. 授業の進め方・内容

- 3回生前期——組織の調査法についてテキストの輪読、日本ボランティア学会全国大会への参加（6月下旬：立命館大学にて）、夏期合宿（9月？：国内の離島 or 韓国）
- 3回生後期——数名の小グループを編成し、組織調査を実施しながら、レポートを書き上げます。
- 4回生前期・後期——グループ、教員と討議しながら、卒業論文執筆、夏期合宿？

4. 必要とする知識

2回生時に担当教員の「NPO・NGO論」を履修しておいた方がよいでしょう。

5. 関連する分野・科目・知識

特になし

6. テキスト・参考書・機材（受講生が標準的に持つもの）

テキストは必要に応じて指定します。一見、NPOと関連しないような小説を読むかもしれません。年間1万円くらいは目安にしておいてください。

7. 独自に付加する選考方法

なし

8. 受講生に望むこと

NPOを単なる「教養」として捉えるのではなく、受講者自身の人生と何かしら関連付けてNPOを捉えられる人を歓迎します。また、ゼミの時間以外にフィールドワークや学会への参加、グループ内の打ち合わせを行うので、自主的な学習時間を確保しておきましょう。